

# 第7回北極評議会メンバー・オブザーバー会合

(2017年8月29日～30日, 於: ロシア・ヤマル半島・サベッタ)

2017年9月5日  
外務省  
海上安全保障政策室



## 1. 会議概要

- (1) 露安全保障会議のイニシアティブにより毎年開催。
- (2) パトルシェフ露安全保障会議書記（プーチン大統領の側近）が関連行事を主催。
- (3) 本年会合には北極評議会メンバー国8か国及びオブザーバー7か国が参加。

- ①北極評議会メンバー国：ロシア，米国，カナダ，デンマーク，フィンランド，アイスランド（グリムソン元大統領，北極サークル創設者），ノルウェー，スウェーデン（計8か国）
- ②本年参加したオブザーバー国：日本，中国，韓国，インド，シンガポール，仏，イタリア（計7か国）  
（中国代表はヌル・ベクリ国家発展改革委員会副主任兼国家エネルギー局長。）  
※北極評議会オブザーバーは計39の国と組織等から構成。

### (4) 主な議題

- ①国際協力と北極地域の安全：エネルギー分野
- ②北極地域での運送・ロジにおける安全保障面の課題
- ③北極の持続的発展：環境，社会，文化的側面

## 2. ロシアの意図

①ヤマル1 LNGプロジェクト（注）が順調に進行しており，本年中に第1トレインが完成，LNG輸出開始予定であること（第2，3トレインも2019年迄に稼働開始予定），ロシアが北極圏での資源開発・北極海航路の積極的活用（通年利用）を目指す姿勢をアピール。（ロシア地元政府責任者，関係省庁次官クラス等参加。）

②今後のヤマル2等，更なる資源開発への外国企業参加（出資）を期待。

（注）総工費270億ドル，LNG年間生産量は1650万トン，世界最大級のLNGプロジェクト  
ヤマルLNG社の株式の50.1%はノヴァテック（露），約29%は中国（CNPC20%，  
シルクロード基金9.9%），20%はTOTAL（仏）。中国は120億ドルを融資。

## 3. 我が国の対応

井出敬二北極担当大使が出席し，会合で以下を発言した。①ロシアとの安全保障対話を重視。②日本企業等の貢献（日揮・千代田化工，商船三井，JBIC），③科学協力推進のため関係当局からの支援を期待，④「法の支配」を重視，⑤安倍総理訪露が日露関係全体を発展させることを期待。